



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社昭和真空 上場取引所 東
コード番号 6384 URL <https://www.showashinku.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役執行役員社長（氏名） 小俣 邦正
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員常務（氏名） 田中 彰一 TEL 042-764-0392
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,590	△20.6	10	48.1	△16	—	△40	—
2024年3月期中間期	3,262	△42.3	6	△99.1	35	△95.6	14	△97.4

（注）包括利益 2025年3月期中間期 94百万円（133.2%） 2024年3月期中間期 70百万円（△90.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△6.52	—
2024年3月期中間期	2.42	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	14,724	11,058	75.1
2024年3月期	14,334	11,397	79.5

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 11,058百万円 2024年3月期 11,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,662	16.1	466	137.9	465	90.8	297	80.8	48.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	6,499,000株	2024年3月期	6,499,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	335,649株	2024年3月期	336,949株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	6,162,784株	2024年3月期中間期	6,159,668株

2025年3月期中間期の期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式65,000株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
3. 補足説明	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)における世界経済は、地政学リスクの高まりや金融引締め継続による景気の下振れ懸念、不動産不況長期化による中国経済停滞など不安定要素を抱えつつも、緩やかな回復基調となりました。

わが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策効果もあり緩やかな回復が続いていますが、欧米における高金利継続の影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、日本企業の電子部品世界出荷額は前年比で増加傾向にあり、主要取引先電子部品メーカーにおいては、在庫調整が一巡し生産設備稼働率は回復基調となっておりますが、全体的には本格的な増産設備投資には至らない状況で推移しました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスメーカーの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル成膜依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、電子部品メーカーを中心とした新規先からの受注を獲得しました。また、海外光学メーカーより前年度第4四半期に続き大口受注を獲得しております。

生産面では、受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努めましたが、顧客事情などによる納品スケジュールの後倒しが発生し、売上に影響しました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、受注高は45億90百万円(前年同期比157.6%増)、売上高は25億90百万円(同20.6%減)となりました。損益につきましては、経常損失16百万円(前年同期は35百万円の利益)、親会社株主に帰属する中間純損失40百万円(前年同期は14百万円の利益)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は34億61百万円(前年同期比294.8%増)、売上高は13億7百万円(同34.9%減)、セグメント利益は40百万円(同70.5%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数が回復基調にあり、水晶デバイスメーカーの在庫調整が一巡したことなどによりデバイスメーカーの設備稼働率は回復傾向となりましたが、市場全体での活発な増産設備投資には至りませんでした。売上に関しては、顧客事情による装置出荷時期の変更などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

水晶デバイス装置の受注高は3億57百万円(前年同期は2億56百万円のマイナス)、売上高は6億24百万円(前年同期比44.9%減)となりました。

(光学装置)

光学業界では、スマートフォンを含む最終製品の需要は回復基調であるものの、デバイスメーカーの設備投資は市場全体では低調に推移しましたが、海外メーカーよりスマートフォンのカメラレンズに係る増産設備として大口受注を獲得しました。売上に関しては、顧客の設備導入準備遅延などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

光学装置の受注高は19億38百万円(前年同期は69百万円のマイナス)、売上高は47百万円(前年同期比85.0%減)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発やサンプル成膜依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努めました。売上に関しては、顧客の設備投資計画の延期により納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

電子部品装置・その他装置の受注高は11億65百万円(前年同期比3.1%減)、売上高は6億35百万円(同13.9%増)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こしや顧客への生産性向上提案による装置の改造工事、保守・メンテナンス受託や消耗品販売に努めた結果、光学デバイスメーカーの生産性向上ニーズに係る大口改造工事の売上がありました。

サービス事業の受注高は11億29百万円(前年同期比24.7%増)、売上高は12億82百万円(同2.3%増)、セグメント利益は3億83百万円(同3.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は110億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億78百万円増加しました。これは主に売掛金が9億45百万円、受取手形が4億62百万円減少したものの、現金及び預金が9億94百万円、仕掛品が9億84百万円増加したことによるものです。固定資産は36億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少しました。これは主に投資有価証券の評価替えにより90百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は147億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億89百万円増加しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は26億円となり、前連結会計年度末に比べ7億15百万円増加しました。これは主に電子記録債務が4億27百万円、支払手形及び買掛金が3億73百万円増加したことによるものです。固定負債は10億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が18百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は36億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億29百万円増加しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は110億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億39百万円減少しました。これは主に利益剰余金が4億76百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は75.1%(前連結会計年度末は79.5%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して13億55百万円増加し、62億83百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金獲得は13億42百万円(前年同期比112.7%増)となりました。これは主に、棚卸資産の増加8億40百万円などの支出はあったものの、売上債権の減少14億22百万円、仕入債務の増加7億85百万円などの獲得があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金支出は54百万円(前年同期比29.4%減)となりました。これは主に、無形固定資産の取得23百万円などの支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金支出は4億37百万円(前年同期比0.0%減)となりました。これは主に、配当金の支払額4億34百万円などの支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日付「2024年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「2025年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,355,778	6,350,059
受取手形	571,946	109,255
売掛金	2,438,874	1,493,001
商品及び製品	1,550	942
仕掛品	1,576,022	2,560,041
原材料及び貯蔵品	517,186	389,172
その他	97,697	135,000
貸倒引当金	△1,814	△2,036
流動資産合計	10,557,240	11,035,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	941,024	905,147
機械装置及び運搬具(純額)	68,478	80,504
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	3,945	642
その他(純額)	113,829	106,577
有形固定資産合計	3,097,841	3,063,435
無形固定資産		
リース資産	3,015	2,369
その他	68,057	66,717
無形固定資産合計	71,073	69,086
投資その他の資産		
投資有価証券	361,043	270,742
繰延税金資産	168,591	209,940
退職給付に係る資産	56,314	53,864
その他	23,078	22,078
貸倒引当金	△279	△279
投資その他の資産合計	608,747	556,345
固定資産合計	3,777,662	3,688,868
資産合計	14,334,902	14,724,303

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,648	758,621
電子記録債務	663,191	1,090,718
リース債務	10,529	8,479
未払費用	203,638	162,392
未払法人税等	11,707	61,605
前受金	213,328	263,038
賞与引当金	148,280	153,877
役員賞与引当金	16,000	-
製品保証引当金	58,000	49,000
工事損失引当金	-	9,300
その他	175,008	43,161
流動負債合計	1,884,333	2,600,194
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	100,000	100,000
リース債務	18,579	14,956
退職給付に係る負債	358,935	377,851
株式給付引当金	49,793	47,704
長期末払金	75,282	75,273
固定負債合計	1,052,591	1,065,785
負債合計	2,936,924	3,665,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,225,128	5,748,981
自己株式	△313,430	△311,627
株主資本合計	10,882,608	10,408,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203,420	158,158
為替換算調整勘定	301,172	482,455
退職給付に係る調整累計額	10,776	9,444
その他の包括利益累計額合計	515,370	650,058
純資産合計	11,397,978	11,058,323
負債純資産合計	14,334,902	14,724,303

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,262,232	2,590,339
売上原価	2,375,214	1,730,878
売上総利益	887,018	859,460
販売費及び一般管理費	880,080	849,185
営業利益	6,938	10,274
営業外収益		
受取利息	4,714	4,117
受取配当金	3,225	4,242
受取賃貸料	1,140	1,154
補助金収入	2,404	-
為替差益	18,375	-
その他	2,165	2,276
営業外収益合計	32,026	11,791
営業外費用		
支払利息	1,287	857
支払保証料	767	772
為替差損	-	11,884
組合投資損失	-	24,703
その他	958	237
営業外費用合計	3,014	38,455
経常利益又は経常損失(△)	35,949	△16,389
特別損失		
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	35,940	△16,389
法人税、住民税及び事業税	30,734	43,218
法人税等調整額	△9,720	△19,446
法人税等合計	21,014	23,772
中間純利益又は中間純損失(△)	14,926	△40,161
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	14,926	△40,161

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	14,926	△40,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,665	△45,262
為替換算調整勘定	59,581	181,283
退職給付に係る調整額	143	△1,331
その他の包括利益合計	56,059	134,688
中間包括利益	70,985	94,526
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	70,985	94,526

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年 4 月 1 日 至 2023年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	35,940	△16,389
減価償却費	145,355	86,888
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	945	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	19,554	19,447
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△79,000	△16,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,381	5,597
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	15,000	△9,000
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△22,700	9,300
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△924	△285
受取利息及び受取配当金	△7,940	△8,359
支払利息	1,287	857
売上債権の増減額 (△は増加)	772,693	1,422,573
棚卸資産の増減額 (△は増加)	195,904	△840,411
仕入債務の増減額 (△は減少)	△570,158	785,352
未払費用の増減額 (△は減少)	△60,333	△28,166
未収消費税等の増減額 (△は増加)	107,770	△71,849
未払消費税等の増減額 (△は減少)	38,450	△126,925
前受金の増減額 (△は減少)	74,362	49,275
その他	△12,440	35,406
小計	639,385	1,297,310
利息及び配当金の受取額	7,945	8,361
利息の支払額	△1,214	△930
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△15,008	37,366
営業活動によるキャッシュ・フロー	631,108	1,342,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,200	△1,200
有形固定資産の取得による支出	△73,274	△29,690
無形固定資産の取得による支出	△2,591	△23,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,066	△54,430
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△434,096	△432,042
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,659	△5,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	△437,756	△437,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	63,774	138,762
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	180,060	988,725
現金及び現金同等物の期首残高	4,748,205	5,294,560
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,928,266	6,283,286

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとしします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は91,958千円、66,300株、当中間連結会計期間末は90,155千円、65,000株です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,009,011	1,253,221	3,262,232
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,145	1,726	4,872
計	2,012,157	1,254,948	3,267,105
セグメント利益	136,224	371,258	507,482

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	507,482
セグメント間取引消去	11,178
全社費用(注)	△511,723
中間連結損益計算書の営業利益	6,938

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,307,685	1,282,654	2,590,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,249	2,929	5,179
計	1,309,935	1,285,584	2,595,519
セグメント利益	40,191	383,876	424,067

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	424,067
セグメント間取引消去	16,444
全社費用(注)	△430,237
中間連結損益計算書の営業利益	10,274

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,134,711	214,457	1,349,169
光学	316,364	609,947	926,311
電子部品	557,935	356,601	914,536
その他	—	72,215	72,215
顧客との契約から生じる収益	2,009,011	1,253,221	3,262,232
外部顧客への売上高	2,009,011	1,253,221	3,262,232

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	624,661	183,173	807,834
光学	47,300	583,423	630,723
電子部品	635,723	449,361	1,085,084
その他	—	66,696	66,696
顧客との契約から生じる収益	1,307,685	1,282,654	2,590,339
外部顧客への売上高	1,307,685	1,282,654	2,590,339

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当中間連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) (千円)	前年同期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	624,661	55.1
光学装置	47,300	15.0
電子部品装置	635,723	113.9
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,307,685	65.1
サービス事業		
改造工事	468,630	86.6
部品販売	584,733	128.2
修理・その他	228,080	88.9
サービス事業計	1,281,445	102.2
合計	2,589,130	79.4

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当中間連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	357,701	—	857,378	108.5
光学装置	1,938,320	—	3,927,035	343.6
電子部品装置	1,165,134	96.9	1,384,936	76.9
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	3,461,155	394.8	6,169,350	165.3
サービス事業				
改造工事	315,674	163.3	660,174	200.8
部品販売	585,942	128.6	—	—
修理・その他	228,080	88.9	—	—
サービス事業計	1,129,698	124.7	660,174	200.8
合計	4,590,854	257.6	6,829,524	168.1

③販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) (千円)	前年同期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	624,661	55.1
光学装置	47,300	15.0
電子部品装置	635,723	113.9
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,307,685	65.1
サービス事業		
改造工事	468,630	86.6
部品販売	585,942	128.6
修理・その他	228,080	88.9
サービス事業計	1,282,654	102.3
合計	2,590,339	79.4

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。